

令和4年度 学力スタンダード指導計画・報告書

教科:( 国語 )科目:( 国語総合 ) 対象:(第2学年1組～5組)

科目担当者:1～5組 高橋・山口・渡邊・小池・長谷川・新井

教科・科目の 指導目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手が感じていること、思っていること、考えていることを的確に判断できるようになる。</li> <li>・自分が感じたこと、思ったこと、考えたことを適切に表現できるようになる。</li> <li>・互いに伝え合うコミュニケーション力を付ける。</li> <li>・知識を得、心を豊かにし、考える力を伸ばす。</li> <li>・言葉の重みを理解し、言葉を大切にする。</li> <li>・漢字検定4・5級の漢字が日常生活の中で使えるようになり、3級の読み書きが出来るようになる。</li> </ul>
----------------	---

	高校入試等の分析結果・前年度の学力調査分析結果	分析結果を踏まえて検討した指導内容	指導体制の確立
年度当初	1 基本的な漢字を書くことができない。 2 他者とのコミュニケーションを深めることが難しい。	1 週1回、漢字テストを実施。補習や課題の提示を行い、常用漢字を書けるようにする。 2 グループ学習や集団討論などの場を意識的に多く設定し、他者とのコミュニケーションを図る。 3 ショートスピーチを行うことで、話す・聞く姿勢を養う。	1 教科会の開催を増やし、生徒の現状把握と対応方法について協議を重ねていく。 2 年間授業計画に基づき、授業担当者間で随時授業内容や進度の打ち合わせを行い、統一的な指導を行う。

	生徒の変容	生徒の学力の定着状況	次年度に向けた指導体制の改善
年度末			